

郵便のユニバーサルサービスに係る課題等に関する検討会  
コストの算定手法等に関するワーキンググループ（第10回）  
議事要旨

- 1 日時：平成29年5月24日（水）15:00～15:45
- 2 場所：総務省11階 第3特別会議室
- 3 出席者：
  - (1) 構成員  
関口主査、竹内主査代理、泉本構成員、高橋構成員、横田構成員
  - (2) 事務局（総務省）  
安藤郵政行政部長、岡崎企画課長、北林郵便課長、中山国際企画室長、牛山貯金保険課長、森田信書便事業課長、松岡郵政行政総合研究官、益岡郵便課課長補佐
  - (3) オブザーバー  
株式会社三菱総合研究所社会ICT事業本部 西角主席研究員
- 4 議事次第
  - (1) 開会
  - (2) 議題
    - ① これまでの議論の整理（親会への報告資料案）
    - ② その他
  - (3) 閉会
- 5 議事要旨
  - (1) これまでの議論の整理（親会への報告資料案）

資料「コストの算定手法等に関するWG これまでの議論の整理（親会への報告資料）（案）」について事務局から説明した。本日の議論を踏まえて、本WGとしてのこれまでの議論を整理して、主査から親会に報告することになり、最終的な報告資料については主査一任となった。主な質疑応答は次のとおり。

泉本構成員：17ページに「再編終了前に、算定する必要がある場合には、その再編による郵便物数の流れが再編地域で一律同じように変わるものでないことから、すでに再編が終了した地域の状況を元に全体を想定したものとはせず、あくまで、再編された地域に限定したものとして反映することが望ましい」とあるが、これは再編が終わったところと終わっていないところと2つ出てくるということか。

事務局：御指摘のとおり。

高橋構成員：28ページで、算定について、「日本郵便のデータ提供が不可欠であることから、必要な協力を求める必要がある」とあるが、日本郵便に強く求めていただきたい。

竹内主査代理：資料について、経緯を知らない方に対しても説明責任が果たせるよう万全の態勢をとっていただきたい。

横田構成員：日本郵便の方々に協力していただかなければ、ユニバーサルサービスコストの算定はできないので、日本郵便の協力を得られるようにしていただきたい。

関口主査：これまでの会合により、モデルの内容について各構成員が共通理解をした上で、今後のモデルの改善の必要性等について議論が深まったという点で、よい成果が得られたと思う。

(2) その他

事務局より、これまでの熱心な議論と成果に対する謝意、及び引き続き議論の可能性のある旨の挨拶があった。

以上